

- 年頭のあいさつ…………… 1
- 平成25年の出来事ほか… 2
- 町の話題…………… 3
- 診療所からのお知らせほか… 4
- 保健師だよりほか………… 5
- 町の元気な子どもたちほか… 6

広報 いまべつ

発行/青森県今別町 編集/企画課 ☎0174(35)3012 FAX 0174(35)2298 今別町ホームページアドレス <http://www.town.imabetsu.lg.jp/>



町長 阿部 義治

新年明けましておめでとうございます。今、こうして町民の皆様と新年を迎えられましたことを大変うれしく思います。

さて私は、昨年の10月13日に町長に就任し、町民と共に歩む町づくりを目指し、3ヵ月余り経過しました。

町長就任後、町内各地区を一巡りして私の今後4年間の町づくりについて、私の生の声を聞いていただきました。町民の皆様と膝を突き合わせて諸施策を話してまいりました。

私は、今後4年間は①北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」開業対策②基幹産業の振興③社会福祉の向上④教育・文化の振興⑤広域連携と新しい振興対策⑥町行財政の健全な運営の6項目を柱に諸施策を展開していきます。

昨年は、2年続きの大雪に見舞われた1年でありました。県内では酸ヶ湯で56.6cmを記録、町でも91cmとなり、豪雪対策本部を設置し、町民生活に支障がないよう除雪、排雪に尽力しましたが、ご不便もあつたと思います。今年の雪はどうかと心配をしておりますが、町道の除排雪や一人暮らし高齢者世帯等の雪対策は関係団体と連携を図りながら安全対策に努めてまいります。

北海道新幹線「奥津軽いまべつ駅」開業まであと2年3ヶ月と近づいてまいりました。昨年の新幹線関係では、「奥津軽いまべつ駅」の安全祈願祭が6月に行われました。また、駅前広場の屋内駐車場建築工事の安全祈願祭も同地で9月に行われました。

「奥津軽いまべつ駅」の駅名について、町民の皆様からのアンケートに基づき、昨年の4月には、JR北海道札幌本社に要望し、JR北海道側からは「地元の意向に添えるように検討したい」との回答を得ました。県では12月に、開業への機運を高めるため県庁正面にPR横断幕を掲げ、除幕式には三村県知事と私も参加し除幕を行っております。

横断幕には「今別町に奥津軽いまべつ駅が設置されます」との文言があり、大変感激し、いよいよ新幹線開業が近づいてきたこと、思いが一層強くなりました。

今後は、開業へ向けて町民の行動計画であるアクションプランの策定から推進委員会、部会での議論を経て今年度から開業の27年度、開業後の28年度までの行動計画を着々と進めていきます。

次に平成19年度から苦境にさいなまれた町の財政もようやく落ち着きを取り戻しましたが、まだまだ安心は出来ません。町の基金は約3億円ありますが、一般会計30億円余りの町財政ではすぐになくなってしまいます。

24年度の連結決算においても赤字となりましたが、町の収入の多くは地方交付税であり54%を占めています。緊縮財政に変わりはないわけですが。

今後、奥津軽いまべつ駅前周辺整備事業である屋内駐車場、屋外駐車場、ロータリー整備事業等の他、県道から駅舎への取り付け道路の整備などが行われます。

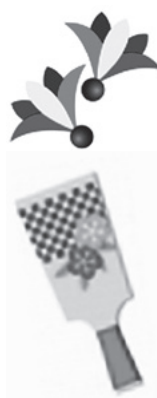
当町は、高齢化率44・63%の県下一の町ではありますが、私は今別町の社会福祉の向上を目指し、お年寄りの安心サポート事業等の実施や基幹産業の農林水産業への振興対策を図ります。

また、幼児・児童生徒を持つ保護者の負担軽減のため、26年度は保育料、学校給食費の保護者負担軽減対策を実行いたします。さらに、各地区の街路灯管理維持費を軽減するため、LED導入事業に取り組み、町民負担の経費削減に努めてまいります。

平成28年3月開業の北海道新幹線を千載一遇のビッグチャンスと捉え、町民のみならずと一丸となつて開業へ向け、そして町政のさらなる発展のために取り組んでまいります。

今後とも一層のご指導ご鞭撻（べんたつ）を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、町民の皆様のご健康とご活躍を心からお祈りいたしまして年頭の挨拶といたします。



町議会議長 島中 春光

町民の皆様、明けましておめでとうございます。

日ごろは、町議会に対し温かいご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。昨年の冬も、雪により町民の皆様が悩まされた年でありました。今年の冬は、長期予報によると前半は平年並みで、後半は平年より多いと言われております。健康には十分留意され過ごしていただきたいと思います。

さて、昨年を振り返りますと、何ととっても異常気象であつたと言ふことでしょう。記録的猛暑が何日も続き、熱中症の発症者が増加している傾向にあります。平成25年8月30日からは「重大な災害が起こる可能性が著しく大きい」場合に特別警報が発表されるようになりましたが、特別警報が発表されるまでは安全、というわけでは決してありません。古来より「地震、雷、火事、親父」と怖いものを並べたことわざがあります。最近では、ややもすると親父の威厳が失墜傾向にあると耳にします。それはともかく、これからの日本は、普段からの備えが万全でなければならぬ事は確かです。10月6日には任期満了に伴う町長選挙が行われ、「町民と共に・未来を拓く」をスローガンにした新町長が誕生しました。新幹線関係を始めとする、様々な厳しい諸課題が山積みしている中、

今年は大変な年になると思われます。議会としても、諸事業が速やかに進行するよう、その実現に向けて議会一丸となつて町政発展のため、努力してまいる所存であります。

今後とも、議会に対する一層のご支援、ご鞭撻（べんたつ）をお願い申し上げます。皆様のご隆盛とご多幸、併せて町のさらなるご発展をご祈念申し上げて年頭のご挨拶といたします。



謹賀新年
平成二十六年元旦



議長	島中 春光
副議長	小鹿 勉
議員	入江 直治
	福士 和比古
	福士 直治
	中島 邦彦
	明田 平苗

今別町議会

町長	阿部 義治
教育委員長	相内 利男
教育 長	澤田 一 同
農 業 委 員 会 長	相内 啓 涉
選挙管理委員長	上山 一 同
代表監査委員	委 員 一 同
監 査 委 員	平山 多三郎
	中島 邦彦

平成25年 町の主な出来事

【1月】

- ・北海道新幹線（仮称）「奥津軽いまべつ駅」開業対策アクションプラン公表町民推進大会開催
- ・平成24年今別町文化賞・スポーツ賞授与式
- ・今別町選挙管理委員会新組織決定
- ・ふれあい福祉スポーツ大会開催

【2月】

- ・今別町消防団出初式開催
- ・第23回今別町婦人芸能祭開催
- ・第31回今別町社会福祉大会開催



婦人芸能祭で大喜び

【3月】

- ・町内で男性初!! 田中久次郎さん百歳を迎える
- ・今別町農業委員会委員選挙8名決定
- ・町内3校卒業式挙行
- ・今別町フェンシングスポーツ少年団が、日本スポーツ少年団より表彰



今別小学校入学式

【4月】

- ・町内3校入学式挙行
（今別小学校に14人の児童が仲間入りしました）
- ・新駅名を「奥津軽いまべつ」と要望（JR北海道へ）
- ・JR東日本主催による「津波を想定した避難訓練」開催
- ・春の大漁祈願祭開催



食べて笑って・・・

【5月】

- ・海峡いまべつ春まつり開催
- ・今別保育園で公開保育を開催

【6月】

- ・（仮称）「奥津軽いまべつ駅」において安全祈願祭挙行
- ・今別町消防団定期観閲式挙行
- ・今別町植樹祭開催



訓練を行う隊員と見守る隊員

【7月】

- ・今別診療所に松田医師着任
- ・青森今別会総会開催（青森市）
- ・今別出身阿部誠也さんの文学碑が弘前市石川地区に建立
- ・平成25年度青函トンネル総合防災訓練開催

【8月】

- ・いまべつ荒馬まつり開催
- ・平成25年度今別町成人式で28名が新成人となる
- ・東津軽郡身体障害者スポーツ大会開催
- ・今別保育園において人権教室開催
- ・民生委員として20年間務めた川口明徳氏に、厚生労働大臣・県知事から感謝状授与



近況報告をする新成人

【9月】

- ・駅前広場屋内駐車場の安全祈願祭挙行
- ・第21回青森県民駅伝競走大会開催
- ・今別小学校ミニバスケット部優勝・野球部3位
（外ヶ浜地区防犯少年球技大会）
- ・東津軽郡PTA研究大会で講師として斎藤春香氏（北京オリンピック金メダルソフトボール元日本代表監督）を招く
- ・東郡中体連新人戦バレー部・野球部ダブル優勝

【10月】

- ・阿部義治新町長初登庁
- ・いまべつ秋まつり開催
- ・今別町ふるさと大使に、町出身者3名任命
- ・相内長男氏・住吉辰郎氏が今別町褒賞を受賞



今別半に舌鼓をうつ会場の皆さん

【11月】

- ・今別町長と議会議員一行が、国会議員を表敬訪問
- ・北海道新幹線高架線レールウォーク開催
- ・「東北復興大祭典なかの」に、初参加



子どもたちに大人気のあらまくんとたずなちゃん



レールウォークで北海道新幹線線路を歩く参加者

【12月】

- ・「平成28年3月北海道新幹線開業」横断幕除幕式
- ・ラブ・いまべつ会東京交流会開催
- ・今別小学校収穫祭（餅つき会）開催

チャレンジ ニュースポーツ IN 今別町



今別八幡宮で宮司の説明を聞く参加者

11月30日、東青地区総合型地域スポーツクラブが、パワーアップ研修会が、当町において開催されました。講師に、車力楽笑スポーツクラブ（つがる市）と、総合型クラブななつち（南部町）を招き、両クラブの紹介と研修内容を説明した後、約50名の参加者は町へ繰り出しました。町を散策しながら、文化財や史跡を巡り、町の良さを再発見し、約4kmの道のりを完歩しました。心地よい汗をかけた後には、ボランティアの方々が作ってくれた温かい豚汁をいただきました。

ママさんバレー青函交流

友好町知内町と毎年バレーボールでスポーツ交流を深めているママさんバレー大会が、11月17日知内町内において行われました。この交流には、福島町のママさんも参加し、3チーム接戦で大いに盛り上がりました。お弁当を囲んでさらに地元の話題に盛り上がり、来年は今別会場で交流する約束をし、今年度の交流を終了しました。



今別町の皆さんと知内町の皆さん

明の星高校英語スピーチコンテスト

創作の部：第1位・第3位



唐川さん（右）入江さん（左）

11月14日、平成25年度第12回明の星高等学校英語スピーチコンテストが開催され、今別中学校から参加した唐川恭代さん（3年生）が、創作の部で第1位、同じく入江真耶さんが第3位となりました。二人は、自分のこれまでの経験を発表し、高い評価を得ました。

『平成28年3月北海道新幹線開業』横断幕除幕式

12月4日、青森県庁正面駐車場において、「平成28年3月北海道新幹線開業」横断幕除幕式が執り行われました。式典には、三村県知事・阿部今別町長を始め、県関係者や、あらまくんとたずなちゃんのゆるキャラも応援に駆け付けました。

阿部町長から、『町がJRに要望している「奥津軽いまべつ駅」という駅名が高々と掲げられたことは大変うれしく、改めて北海道新幹線開業が迫っているという思いを強くしました。町としては、多くの方に「奥津軽いまべつ駅」を利用していただけるよう、県をはじめ、近隣市町村と連携しながら、開業に向けた準備を加速させていきます』と挨拶がありました。



横断幕を仰ぎ見るあらまくん・知事・町長・たずなちゃん（左から）

津軽海峡ブランド博

11月22日～24日、東北新幹線開業効果の持続・拡大と北海道新幹線開業との相乗効果を獲得するため、県内及び道南地域の市町村、商工会及び事業者等が連携し、食関連産業におけるものづくり企業向け商談会と、青森県内企業と北海道内企業との交流促進を図りながら、津軽海峡ブランドの確立に向けた特産品の販売及び広域圏のPR活動を目的に、「津軽海峡ブランド博」が開催されました。会場には特産品を買い求めるお客様が数多く訪れ、23日にはステージ上で今別荒馬保存会の荒馬が披露され、会場は一段と盛り上がっていました。



今別町商工会のブースでもずくうどんを試食する女の子



円覚寺を足早に散策



鶴岡八幡宮で記念撮影

12月1日、ラブ・いまべつ会東京交流会（松本弘世話人会長）が、鎌倉市内で開催されました。今年で14回目となる交流会には、会員とその親族や友人のほか、町から阿部町長と3名の職員が参加し、計34名での交流会となりました。今回の交流会は「寺社に親しむ」という趣向で「紅葉に染まる古都鎌倉」を散策しました。北鎌倉駅に集合した一行は、最初に円覚寺を拝観。山門、方丈庭園、国宝に指定されている舍利伝と共に、紅葉の美しさを存分に味わいました。次に拝観したのが、建長寺。ここでは、建物が見どころに並ぶ伽藍の配置、庭園が見どころとなっており、会員の方々は、短時間の中で足早に散策をしていました。最後に鶴岡八幡宮を参拝し、約2kmの道のりを楽しみました。

交流会は、鶴岡八幡宮前の伝統あるそば店峰本で開催され、町長挨拶の中で北海道新幹線の工事進行状況や、町が取り組んでいるアクションプランの内容、問題点などの報告がありました。会食しながら、故郷に対する想いや、北海道新幹線開業に期待する声を聞き、東京・今別間が更に近くなる思いを実感しました。

ラブ・いまべつ会東京交流会

今別小学校収穫祭



全校児童で力を合わせて繭玉飾り



お味はいかが？



ざあ丸めるぞー



ヨイッショ！

12月11日、今別小学校体育館において収穫祭が行われました。この行事は、5年生の児童たちが田植えから稲刈りまでを行い、育てたもち米で餅つきをして繭玉を飾り、収穫の喜びを味わうものですが、5年生の母親や祖母たちが朝早くから準備をし、児童たちと一緒に餅つきをしました。つき終わった餅は児童たちの手で丸められ、繭玉用と試食用に分けられていました。また、餅つきが終了し繭玉を飾るときには全校児童が参加し、「来年も野菜やお米の収穫ができ、学校給食もおいしくいただくことができますように」と、祈りながら繭玉飾りを行い、紅白のお餅のほかにお菓子やスルメが下げられ、来年の豊作が約束されたようなたわわな繭玉が完成しました。



サクソフーン奏者福田氏



みんなにこやかに記念写真

11月7日、元大川平小学校校長を務めた福田州裕先生が、ふれあいの里を慰問しました。サクソフーン奏者の福田氏は、県内各地の施設を意欲的に慰問し、ふれあいの里には今回で2回目となります。昔懐かしい曲を演奏し、入所者の皆さんはサクソフーンの音色に酔いしれながら一緒に歌い、あっといふ間の1時間を過ごしました。

ふれあいの里 慰問コンサート

津軽半島大集合 ストープ列車出発記念点火祭

津軽半島観光アテンド企画による「津軽半島大集合」が、11月30日、五所川原立佞武多（たちねぶた）広場で開催されました。津軽半島各地の観光をアピールするこのイベントは、今回で2回目となり、西北五地区と東郡の2市7町が参加し、当町からも特産品を販売して、多くの皆さんに喜んでいただきました。翌12月1日には津軽鉄道サポーターズクラブ主催によるストープ列車1番列車出発記念式典「2013点火祭」が、津軽中里駅内「駅ナカにぎわい空間」において、執り行われました。パネルディスカッションには、パネラーとして今別町十五日会会長の澤田瑞穂氏も参加し、地域遺産やまちづくり等について、ディスカッションが繰り広げられました。また、木古内商工会女性部と大川平加工グループが特産品を振る舞い、参加者どおしの交流を深めていました。



パネラーの皆さん



今別町特産品コーナー

12月6日、開発センターにおいて今別町社会福祉協議会主催による「第32回今別町社会福祉大会」が開催されました。記念講演では、講師に青森県金融広報アドバイザーの中田鶴子氏を招き、『もしもの時のお金の管理～成年後見制度』の講演が行われ、約100名の参加者は、他人事とは思えないような事例に、とても熱心に耳を傾けていました。アトラクションでは、ボランティア有志による舞踊・今別保育園児による荒馬等・外ヶ浜警察署員による寸劇が披露され、会場を沸かせていました。午後からは式典が執り行われ、社会福祉に貢献された個人や団体が表彰されました。



講演を真剣に聞く参加者



今別保育園児のお遊戯



中田鶴子氏

今別町社会福祉大会 「ともに生きる福祉コミュニティをめざして」



今別診療所からの健康だより

今月は、かぜとインフルエンザについてのお話です。

意外かもしれませんが、医学的には「かぜ」という病気はありません。一般的に上気道（鼻・咽頭・喉頭）の急性炎症疾患の総称を「かぜ（感冒）症候群」と言います。

原因：ほとんどのかぜ（90%以上）がライノウイルスやコロナウイルス、アデノウイルスなどのウイルスが上気道（鼻から喉まで）粘膜にくっついて感染、炎症を起こすために起こります。他には、細菌やマイコプラズマなども原因になることがあります。（約10%以下）。かぜをひいた患者さんの鼻やのどから、くしゃみや咳で、鼻水や痰などの小粒子に含まれて飛び散った病原ウイルスは別の人の鼻やのどなどの上気道粘膜に付着して、20分ほどでその人の身体の細胞に入り込み、18～24時間で増加し、かぜとして発症します。

症状：原因となるウイルスによって多少症状は異なりますが、鼻水・鼻づまり・のどの痛み・咳・発熱・頭痛・全身倦怠感などがあり、多くは数日でよくなります。

治療：まずは、安静を保ち、保温し、十分な栄養を取り、体力を必要以上に落とさないようにすることが大切です。通常は2～3日目に症状が絶頂に達し、後は下り坂になって完治していきますが、2～3日をすぎても39℃近くの高熱や、咳や痰などで眠りが妨げられたり、のどの痛みのために食事や水分が取れないようなときは肺炎などの合併症や他の病気の可能性もあるので、医療機関を受診したほうがいいでしょう。



かのナポレオンが「こんな鼻かぜひとつ治せなくて医学がなんになるのだ」といったくらい、ウイルスを退治する薬は現代でも限られたものしかなく、かぜ症候群の特効薬を開発すれば、ノーベル賞受賞はまちがいないともいわれています。

昔も今も、お薬による治療としても、それぞれの症状にあわせた対症療法しかありません。（かぜによく効く薬や注射はないということです。）

たとえば、熱があるときには「解熱剤」、くしゃみ・鼻水・鼻づまりには「抗ヒスタミン剤」、咳には「咳止め」や「痰を切る薬」。風邪に伴って気管支の粘膜がはれ、咳がひどかったり、ゼーゼーするときは「気管支を広げる薬」などが処方されます。かぜをきっかけに、中耳炎や気管支炎・肺炎などを併発することもあり、これらの合併症を予防するために抗生物質を併用することもあります。

一方、インフルエンザとは、インフルエンザウイルスに感染して

	インフルエンザ	普通感冒
発熱	急激	緩徐
悪寒	強い	弱い
優勢症状	全身症状	上気道症状
発熱	高い しばしば39～40℃	ないかあっても37℃
全身の疼痛（腰痛・関節痛・筋痛など）	強い	なし
重病感	あり	なし
鼻・喉頭炎	全身症状に後続する	先行する・顕著
経過	一般的に短い	短いなが長引くことあり
合併症	気管支炎・肺炎	少ない・中耳炎・副鼻腔炎
発生状況	流行性	散発性

起こる病気です。伝染性が非常に強く重症化しやすいため、普通のかぜ、感冒とは区別すべき病気です。

これらは典型的な症状ですが、インフルエンザウイルスに感染していても、これらの症状がすべて現れるわけではありません。最近では、インフルエンザウイルスの有無を簡単に判定する検査法が普及してきたため、短時間でインフルエンザウイルスに感染しているかどうか診断しやすくなりました。一般に重症化しない限りは、症状はだいたい約1週間でおさまりますが、高齢者など（罹患率は低いのですが）では肺炎等の合併症を起こしやすいため注意が必要です。**インフルエンザの治療**は、かぜと同様に、対症療法と自然治癒力に頼るしか方法がありませんでしたが、近年になってインフルエンザウイルスに直接働く抗インフルエンザウイルス薬の開発が進み、治療によく使われるようになりました。剤形には、飲み薬と吸入剤、点滴注射薬があります。いずれの薬も市販はされていません。年齢や体重、インフルエンザにかかって何日目か、合併症があるかなど様々な条件によって使える薬に制限がありますので、抗インフルエンザ薬については、病院・診療所の医師と相談してその指示に従ってください。

インフルエンザ感染症には、なんといっても、予防策が大切です。流行前にインフルエンザワクチンを接種することも重要ですが、ワクチンを接種してもインフルエンザにかかる患者さんは珍しくありません。インフルエンザの流行時期には、**十分な睡眠、栄養、休養をとり、人込みや繁華街への外出を控える、外出時にはマスクを利用、室内では加湿器などを使用して適度な温度にする、帰宅時のうがい、手洗いの励行**などの予防策が極めて重要です。これらのことを留意し、寒い季節を健やかに乗り切りましょう。

平成26年度保育園入所児童募集

今別町では、平成26年度保育園入所児童を募集しています。入所希望される保護者の方は、平成26年1月7日（火）～1月31日（金）までにお申込みください。申込書は役場町民福祉課福祉担当窓口及び今別保育園にごさいます。

☆入所基準☆

※両親（両親と別居している場合は児童の保育を実際見ているもの）が（1）～（6）のいずれかに該当しなければ入所できません。

- (1) 家庭外労働
児童の親が家庭の外で仕事をするのが普通なので、その児童の保育ができない場合。
- (2) 家庭内労働
児童の親が家庭で児童とはなれて日常の家事以外の仕事をするのが普通なので、その保育ができない場合。
- (3) 親のいない家庭
死亡、行方不明、拘禁などの理由により親がいない場合。
- (4) 母親の出産等
親が出産の前後及び病気、負傷、心身に障害があるため、その児童の保育ができない場合。
- (5) 病人の看護等
その児童の家庭に長期にわたる病人、心身に障害がある人がいるため、親がいつもその看護にあたり、その児童の保育ができない場合。
- (6) 家屋の災害
震災、風水害、火災などの災害により、家屋を破損または失い、その復旧の間、児童の保育ができない場合。

☆必要な書類等☆

- 1. 保育所入所申込書
 - 2. 給与所得者の方は源泉徴収票の写し（平成25年分）、確定申告をした方は申告書の写し
 - 3. 確定申告書の写し（平成25年分・後日確定後に提出していただきます）
 - 4. 就労証明書
 - 5. 状況確認報告書（自営業の方等は民生委員からの状況確認報告書が必要です。各地区の民生委員から証明をいただいでください）
 - 6. 診察券の写し（介護・通院の方）
- ※（1～5までの書類は、役場・保育園にごさいます。）

【申込み・問合せ先】

町民福祉課 福祉担当 電話：35-3004



20歳になったら国民年金

国民年金は、年をとったときやいざという時の生活を、現役世代みんなで支えようという考えで作られた仕組みです。具体的には、若いときに公的年金に加入し保険料を納め続けることで、年をとったときや、病気やケガで障害が残ったとき、家族の働き手が亡くなったときに、年金を受け取ることができる制度です。

国民年金のポイント

◎将来の大きな支えになります

国民年金は20歳から60歳までの人が加入し、保険料を納める制度です。国が責任をもって運営するため、安定していますし、年金の給付は生涯にわたって保障されます。

◎老後のためだけのものではありません

国民年金には、年をとったときの老齢年金のほか障害年金や遺族年金もあります。障害年金は病気や事故で障害が残ったときに受け取れます。また遺族年金は、加入者が死亡した場合、その加入者により生計を維持されていた遺族（「子のある妻」や「子」）が受け取れます。

「学生納付特例制度」と「若年者納付猶予制度」

★「学生納付特例制度」

学生の方は一般的に所得が少ないため、ご本人の所得が一定額以下の場合、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。対象となる学生は、学校教育法に規定する大学（大学院）、短期大学、高等学校、高等専門学校、専修学校及び各種学校（修業年限1年以上である課程）、一部の海外大学の日本分校に在学する方です。

★「若年者納付猶予制度」

学生でない30歳未満の方で、ご本人及び配偶者の所得が一定額以下の場合に、国民年金保険料の納付が猶予される制度です。

【問合せ先】日本年金機構 青森年金事務所 お客様相談室

電話：017-734-7498

役場町民福祉課 電話：35-3003

こんにちは。保健師です。

～すすめよう 健康いまべつ21～

今別町お達者塾開催のお知らせ

今別町では、今年度も65歳以上の方を対象に、いつまでも住み慣れたこの町でいきいきと暮らしていけることを目的として『今別お達者塾』を開催します。下記の日程で開催しますので、参加を希望する方は各教室の1週間前までに申し込みください。65歳以上の方でしたら、どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。

日 時	テーマ	講師	開催場所
1月29日(水) 13:30~15:00	講話・実技 『いきいき運動教室 ～筋力アップ体操・バランス感覚～』	運動指導士	開発センター 1階 集会室
2月 5日(水) 10:00~12:00	講話・調理実習 『健康クッキング① ～バランス・低栄養予防メニュー～』 講話（調理実習終了後） 『正しく知ろう認知症（認知症予防）』	栄養士 保健師	開発センター 1階 調理室 1階 集会室
3月12日(水) 10:00~12:00	講話・調理実習 『健康クッキング② ～骨粗鬆症予防メニュー～』 講話（調理実習終了後） 『心とからだの健康生活（うつ予防）』	栄養士 保健師	開発センター 1階 調理室 1階 集会室
3月20日(木) 13:30~15:00	講話 『歯ッスル教室 お口を健康に保って食べましよう』	歯科衛生士	開発センター 2階 研修室

【問合せ先】町民福祉課保健師 電話：35-3004

新しい民生委員・児童委員

～一斉改選による民生委員・児童委員の顔ぶれ～

11月30日で任期満了となった民生委員・児童委員の一斉改選がこの程行われ、3人の新人を含む15人の民生委員と2人の児童委員が決定し、阿部町長から厚生労働大臣の委嘱状が伝達されました。会長には村元地区担当の石岡多江子氏、副会長には大川平下町地区担当の嶋中美保子氏が再選され「地域住民のお役に立てるよう頑張りたい。」と抱負を語っていました。各地区担当の民生委員は下記のとおりです。

(任期：H25.12.1～H28.11.30) 敬称略

担当地区名	氏 名	担当地区名	氏 名
八幡町	石川 成子	村 元	石岡多江子
新町～寺町	吉田 恵子	山 崎	中島 妙子
後町～団地	岩渕 健	大 泊	吉田 すゑ
西 田	田中 京子	襲 月	小倉 純子
浜 名	新井田優子	砂ヶ森	藤巻なをみ
大川平下町	嶋中美保子	奥平部・綱不知	横岡スミエ
大川平上町	中道さきみ子	主任児童委員	山内 和子
二 股	相内 久江	主任児童委員	鈴木 淑子
鍋田・関口	大畑 恒子		

後町地区に「ゾーン30」を設定

このたび、後町地区の道路が、時速30キロを制限速度とする『ゾーン30』に設定されました。これは青森県警及び外ヶ浜警察署が実施したもので、学校や病院のほか金融機関や公共施設が付近にあり、また住宅密集地であることから設定されたものです。これにより、生活道路としてより一層の安全意識を高め、交通事故抑制の効果が期待できます。

★ゾーン30とは・・・

生活道路における歩行者等の安全な通行を確保することを目的として、区域（ゾーン）を定めて時速30キロの速度制限を実施するとともに、その他の安全対策を必要に応じて組み合わせ、ゾーン内における速度抑制や、ゾーン内を抜け道として通行する行為の抑制等を図る生活道路対策です。



「ゾーン30」道路標示



区域規制標識

今別町ふれあい福祉センター 1月の相談日のご案内

一般相談、日常のあらゆる心配ごと・・・など

相談種別	相談日	相談時間	相談員
生活一般相談	1月8日(水)・22日(水)	10:00～11:30	生活一般相談員
電話相談	毎週月曜日～金曜日	10:00～17:00	社協職員

※土、日及び祝祭日は対応できませんのでよろしくお願い致します。

専門相談 専門相談員による相談

相談種別	相談内容	相談日	相談時間	相談員
法律相談	借金、離婚、財産相談、土地登記に関する相談	1月14日(火)	13:30～16:30	弁護士
年金相談	各種年金、社会保険等についての相談	1月20日(月)	10:00～12:00	社会保険労務士

※相談を予定している方は、事前に予約をお願いします。当日の来所は電話でお知らせ願います。また、2月の専門相談は法律相談（司法書士）だけです。

《問合せ先》今別町社会福祉協議会 電話35-3081

嶋中 文子氏

厚生労働大臣・
県知事感謝状



感謝状伝達後の町長と嶋中氏(右)

平成19年から平成25年11月までの6年間、民生委員として活躍した西田地区・嶋中文子氏に、厚生労働大臣及び県知事から感謝状が贈呈され、町長室において伝達が行われました。嶋中氏は、「とても光栄です。民生委員を辞めても、これからも、社会福祉の増進に協力していきます」と話していました。

平成26年申告相談のお知らせ

対象地区名	期 日	場 所	備 考
奥平部・網不知	2月4日(火)	奥平部地区集会所	集 会 室
砂ヶ森	2月5日(水)	多目的集会所	和 室
褒月	2月6日(木)	褒月会館	二階和室
大泊	2月7日(金)	大泊文化会館	〃
山崎	2月12日(水)	山崎文化会館	和 室
関口	2月13日(木) 午前	関口会館	〃
鍋田	2月13日(木) 午後	鍋田会館	〃
村元	2月14日(金)	村元会館	〃
大川平(上・中町)	2月18日(火)	大川平文化会館	小会議室
大川平(下町)	2月19日(水)		
二股	2月20日(木)	二股福社会館	和 室
浜名	2月21日(金)	浜名公民館	二階和室
今別	2月25日(火)	今別町中央公民館	集 会 室
団地	2月26日(水)		
西田	2月27日(木)		
全町申告	2月28日(金)		
申告予備日	3月4日(火)	※上記日程が変更及び中止のときは予備日に変更になります。	
	3月5日(水)		

◆申告の際に持参するもの

- ◎印鑑 ◎生命保険料控除証明書 ◎地震保険料控除証明書
- ◎源泉徴収票(給与所得者) ◎医療費支払領収書(タクシー利用の場合は領収書を持参すること) ◎預金通帳(還付又は納付の際に必要です)
- ◎年金源泉徴収票(ハガキ)
- ◎社会保険事務所より送付されている国民年金保険料控除証明書

※農業・漁業・営業の収入のある方々は、収支計算書の作成が必要となります。

必要書類が不備の時は、申告の受付ができない場合もありますから、必ず領収書等を持参して下さい。

△農業者個別所得補償制度で所得補償交付金を受領している方は、その金額が確認できるもの。

◆住宅取得特別控除の場合

◇住宅が1年目の場合必要なもの

1. 登記簿謄本(抄本) 2. 戸籍謄本又は戸籍の附表 3. 住民票
4. 契約書又は領収書等(工事金額の確認ができるもの)
5. 年末残高証明書(金融機関発行のもの)

◇住宅が2年目の場合必要なもの

1. 給与所得者の住宅取得等特別控除申請書(税務署発行のもの)
2. 住宅取得資金に係る借入金の年末残高証明書(公庫・金融機関発行のもの)

◆退職者の確定申告

1. 源泉徴収票(退職所得分・給与所得分・公的年金分)
2. 健康保険任意継続掛金領収書(加入の場合)
3. 生命保険・地震保険控除証明書

【相談時間】 午前9時～11時30分・午後1時～3時

《問合せ先》 総務課 税務担当 電話：35-3008

※申告相談は、各対象地区の会場をご利用ください。

都合により、対象地区で申告できない方は2月27日・2月28日の全町申告日に今別町中央公民館をご利用下さい。

なお、申告されない方は、所得証明書等の各種証明書の発行はできませんのでご注意ください。また、収入の少ない方(年金収入等)、所得の少ない方でも扶養控除及び健康保険加入の支障となる場合がありますので必ず申告しましょう。

イ マ ダ ス

まちの行事予定

(1/1~2/10)

※行事予定名・開催場所・担当を掲載しています。

1/6(月)	官公庁御用始め	今別町
10(金)	入学説明会(今別中学校)	教 育
15(水)	幼児フツ素歯面塗布	福 祉
	小・中学校3学期始業式	教 育
17(金)	今別町新年会	総 務
23(木)	今別町文化・スポーツ賞授与式	教 育
24(金)	町ふれあい福祉スポーツ大会	社福協
31(金)	国民健康保険税第6期納期限	税 務
	介護保険料第6期納期限	福 祉
2/1(土)	バルーンアート教室(中央公民館)	教 育
2(日)	今別町消防団出初式	総 務
3(月)	人権・行政相談(中央公民館)	総 務
8(土)	婦人芸能祭(開発センター)	教 育



11月30日に蟹田小学校で、ミニバスの東部カップが開かれました。私たちの初戦の相手は、蟹田小でした。蟹田小はとてもシユートの入るチームでしたが、ティフエンスでプレッシャーをかけてシユートをうたせまいようにしました。そして、何とか勝つことができました。決勝戦の相手は、蓬田小でした。「絶対に勝つてカップを持ち帰る！」という気持ちで戦いました。そして、優勝することができました。うれしかったです。これから新人戦を目指している3・4・5年生のみんなの役に立てるようサポートしていきます。

① 畑田真友香
② 西田
③ プロバスケッ
卜ボール選手

町の元気な子ども達

「今別小学校6年生」

①氏名 ②地区名 ③将来の夢

入賞 おめでとう

各種コンクールの入賞者をお知らせします

平成25年度青森県 やさい作品コンクール 努力賞 4年 米谷 隼

第25回MOA美術館 児童作品展

【書写の部】 佳作 4年 成田 祥佳

平成25年度 「農業ふれあい教室」 作文コンクール

【低学年の部】 最優秀賞 2年 高木 麗奈

優秀賞 3年 若佐 心音

【お詫びと訂正】
12月号8ページの「お詫びと訂正」箇所が1月号と掲載されましたが、11月号の誤りでした。担当の確認ミスによる再度の訂正で、町民の皆様には多大なご迷惑をおかけすることになり、誠に申し訳ございません。

編集後記
12月1日に、ラブ・いまべつ会東京交流会に参加させていただきました。初めて会う人が多かったのですが、出身地区の話をして、同級生や知り合いの話をしていくうちに、不思議と昔から知っているような錯覚に陥り、すごく懐かしく感じたのは私だけだったでしょうか？
4日には、県庁正面に北海道新幹線開業の横断幕が掲げられました。いよいよ開業が迫ってきました。ここ津軽半島にも、たくさんのお客様が訪れてくれることを期待したいものです。
広報担当(おへん)

戸籍の窓口

(11月1日から30日までの届出分)

お悔やみ申し上げます

木村里江(69)	浜名	今別の姿 (平成25年11月30日現在)
坂本房雄(75)	浜名	
三浦亜紀子(41)	西田	

掲載を希望されない方は、届出の時に町民福祉課へ申し出下さい。また、東奥日報についても同様申し出て下さい。

面積	125.28km ²
人口	3,116人(-18)
男	1,468人(-6)
女	1,648人(-12)
世帯数	1,533(-7)

()内は前月比